



川北小学校の校庭で凧(タコ)揚げ


広報
しべつ

題字：北標津中学校1年 行田貴代

〈主な内容〉

- 揺れ動く標津の農業
- 川北市街が生まれ変わる
- 標津と川北で冬まつり
- 松実氏が緞帳(どんちょう)を寄贈

萌える海と大地・さわやか交流郷

頭上高々と凧(タコ)が舞い上がりました。

2月13日に行われた“ナイトイン川北冬のつどい”の中で、長崎凧(ハタ)揚げ振興会のメンバー3人が、川北小学校で凧づくりの指導をしてくれました。出来あがった凧を試運転。右に回転させたり左に回転させたり、指先ひとつで自由自在に操っていました。

昭和63年

3月号 No.253

標津の農業

NTT民営化 JR標津線の廃止 営林署の合理化

NTT民営化、JR標津線の廃止、営林署の合理化、農業の危機と国内外を問わず財政改革、円高、農畜産物自由化の波を標津町がまともに受け、このところ大変な時期を迎えています。生産者、生産者団体、商店街、役場は、いやが応でも対応を迫られています。

田舎でノンビリと過ごそうと思っても足元から火をつけられている状態です。「国の政策が、米国が、道が」と語るだけでは解決の糸口は見あたりません。地域住民皆んなで知恵を出し合い、生きる術(すべ)を考え行動を起こさなければ生きられない時代になっています。

二月十一日午後一時三十分から標津町農村環境改善センターにおいて行われた北海道新聞社論説委員 吉田英嗣氏の講演を聞いても、とにかく自助努力がなければ乗り切れないように感じました。

国の政策、法律・財源の制約などで標津町だけではどうすることもできない事も多いですが状況を手をこまねいて見ていると過疎の町へ転落していきま。産業・教育・文化などさまざま

な分野で理念を持った着実な行動の積み重ねが期待されるところです。

円高以前は諸外国の乳価に近づいていたんだが...

真綿で首を締められるような状態



古多 須田幸一さん(58)

とうとう来るべきものが来た。乳代も、これから下がり続け、農家は真綿で首を締められるような状態になるだろう。借金を抱える割と大きな酪農家が危くなるかも知れない。根室管内は酪農に頼るしかない。生産者が生き抜くには経費



川北 桜井條太郎さん(44)

脱脂粉乳の輸入自由化は保留となったが、近い将来必ず自由化の波はくるだろう。外圧にはどうしようもない。日本の工業製品輸出の黒字対策のため農業が犠牲になっている。私としても酪農をやめるわけにはいかなないので、国に保護してもらいながら自分なりに努力しなければ。酪農家としては、

明日からも返していかなければならない多額の借入金がある。借入金があれば対抗の方法はあるんだが。本州の酪農と比べると北海道酪農は、農機具などの生産資材がかかり過ぎるためどうしてもゆるくない。しかし、根室の酪農は草地面積が広いので、このメリットを生かすべきです。現在、乳牛には粗飼料(牧草)の質が悪いせいか濃厚飼料(輸入穀物飼料)も与えているが、将来的には質を高めた粗飼料だけでまかなうことが必要です。円高以前は、経営改善努力により諸外国の乳価に近づいていたんですが...

をかけない飼料の確保が大切。それにしてもアメリカよりも安い牛乳はできない。国の保護政策に頼るしかないだろう。いま一番訴えたいのは、借入金利息を引き下げてもらいたいのと長期返済方法を考えてもらいたいことです。日本はアメリカの言いなりになり過ぎます。自由化になっても安い農産物が一時安くなっても将来はどうなるか解りません。

日本農業の課題

揺れ動く

～日米貿易摩擦を背景として～

北海道新聞社論説委員 吉田英嗣氏講演

農畜産物輸入自由化対象十二品目のうち、脱脂粉乳とでんぷんについては自由化できない。と保留の形をとったが、いつまで続くかは疑問がある。

そもそも米国と日本との農業の違いがあり過ぎる。カリフォルニアの水田はとにかく広い。三六〇度見渡しても水田しか見えない。数百疇を所有している農家はザラにある。コストでは日本が米国に勝てるわけがない。

戦後、世界的に食糧が不足していた時期は米国農業がまかかっていた。各国は食糧自給に努めた。一九七〇年代には均衡がとれてきた。現在ではアフリカ、インドが不足状態にあるが、世界的に過剰状態にある。とくに米国農業は輸出に頼るしかなかく一億二千万人を抱える日本は大変な魅力がある。

一方、中国はどうかと言えば人口十五億人のうち農業人口は八億人で輸出国までにはいたっていない。基本的には人民公社が農業経営を行い、収益は集団で平等に分配している。働く人と働かない人がおり、生産力があがっていないのが現状のようだ。現在、個人に土地を貸し、

一定の生産物は国の基準価格で納品し、残りは自由販売する。請負い制をとっているが、これが共産主義と言えるかどうか。資本主義に近いのでは。中国のエリート役人の給料が日本円で三千円くらいで、とにかく労働力は安い。農業輸出国となったら脅威である。

現在、財界を中心に日本農業の批判が実には多い。例えばコメに關して言えば、生産者が米価闘争をして価格が上がると即消費者米価にはねかえってくる。生産者と消費者が真つ向から対立している。今まで農業者側から消費者に対する対話・PRがなかったのではないか。日本農業が外圧をしのぐためには、日本の世論をどこまで味方につ

吉田氏の時事講演会



るかにかかっている。

また、時代の要請に応えるためコストダウンに努め、内外との価格差を縮めなければならぬ。競走原理の導入、規模拡大

生産者の乳代を タダにしても 1リットル 130円はする

など、経営感覚、情報収集能力分析能力を身につけた経営者がどんどん必要となってこよう。それを展開できるのは北海道農業しかない。



茶志骨 合田清一さん(48)

らが牛乳の価格を決められないのが情けない。

米国では、畑にまく肥料や餌代は、日本の半分から三分の一くらいと聞く。乳価ではかわらない。しかし、農産物が安いからといって輸入しても、一時的には値下がりしても将来とも安定した価格、供給になるかは疑問だ。

現在、牛乳一リットルが二百円とすれば、生産者の手取りが七十円強くらいになります。生産者が乳代をタダにして出荷しても一リットル百三十円前後はするわけです。流通を簡素化しなければ価格は安くならないし、生産者の努力には限界があります。生産者自

農業批判の中で農業補助金のこと言われるが、実際に恩恵を受けているのは一割か二割くらい。草地改良に使われている補助金は、土木の失業対策のためもある。素人では、状況がどうなのかわからない。

川北市街が生まれ変わる

道々拡幅工事にともない 商店が次々と新らしく

今年の五月中旬から始まる川北市街地の道路（鋼路開発建設部武佐川標津改修事業所前から川北公民館前の全長三八五メートル）拡幅工事に合わせ、このところ商店街の新築工事が進み川北市街が生まれ変わろうとしています。

道々であるこの道路の拡幅工事が着工されるにいたった経緯は、昭和五十八年に、当時副知事であった佐竹氏が川北に來た際行った陳情が発端。話しがトントン拍子で進み、町も地域住民もビックリ。急いで川北市街道路拡幅促進期成会（林勇会長）を組織し、具体的に道に對し要



生まれ変わりつつある川北市街地域



川北市街道路拡幅工事合同協議会

望していったものです。

拡幅にともなう用地買収、住宅移転補償（対象物件三五件、総額三億円）も済み、川北の各商店は、これを資金として新築しているところだ。

予定している道路の幅は、車道九メートル、歩道両側各三メートル、従来よりは相当広くなり、歩道部分には幅一メートルの植樹帯が全長四〇〇メートル設置され、交差点には四基の道路照明灯が設置されます。（ほかに四基追加要望中）植樹帯には町の木ナナカマドと町の花ハマナスの植栽を予定しており完成する十一月末には素晴らしい町に生まれ変わります。

なお、中標津空港がジェット化する昭和六十五年までには道々中標津川北線（飛行場から標

陳情した方がビックリ

川北市街道路拡幅促進期成会

会長 林

勇さん



津ト下山間）も拡幅され、将来交通量も増えることになりそうです。

昭和五十八年に佐竹前副知事が川北に來て、あいさつ交わりが頼んだところ話が進んでしまった。陳情した方がビックリしました。通常、土地買収などではゴタゴタするもんだが、そんなり進んだ。役場の人たちもいっしょうけんめいやってくれました。店舗新築にするのにも手出しが多くなるのではと思っていたが、まあまあ補償金も出て皆んな喜んでいました。中標津の大型店舗や農協店舗に流れる客を少しでも食い止められればと思っています。店を新しくしたら新しい客も来ているようです。

ただ、家だけ新しくしても駄目です。産業おこしをしなければ。別海町では乳製品の加工をやっているが標津では何もやっていない。標津線が廃止になったら跡地利用のこともあるし、つるい村の保養センターのような福祉施設に合わせて酪農青年の研修所や農畜産物の加工センターなどが出来ればいい。行政の世話になることが多いと思うが、とにかくやらなくちゃ駄目だね。語りばかりではなく、皆んなで良くしようやという事です。



雄希くんは、お目々がパッチリとしています。お母さん似かな。お父さん似かな。二人とも目が大きい方だから両方に似たのかな。

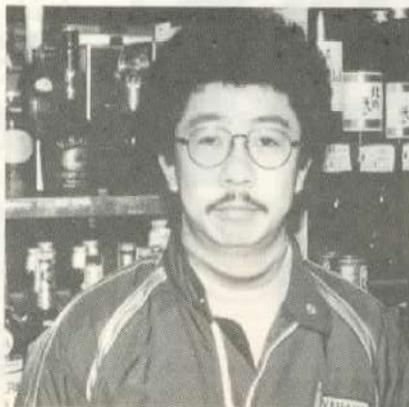
雄希くんは音の鳴るものが好きです。お母さんが掃除機を使っていると喜んでついてきます。歩くのも、なかなか上手です。でも5~6歩くらいかな。そうそう、遅ればせながら歯もはえてきたんです。下の歯が2本と上の歯ももうすぐ出てきそうです。

雄希くんは、おじいちゃんが大好きです。いつもおじいちゃんとお出かけです。

昨年だったか新聞の片隅に一村一品の話が出ていました。一村一品の先駆者は大分県であるけれど、本道についてはその大分県をしのぐファイバーぶりの始まりで、道知事が変わってから一村一品を提唱し、各市町村をはじめマスコミまでその流れに乗ってしました。

その結果として各市町村ではさまざまなモノが創られマスコミなどで紹介されるが消えていく、残ったモノはほとんどないのではないかと。単純に一村一品ということには一考の余地あり。ということだったように記憶しています。

私は、一村一品で名を売ることとは大変良いことと思う。あれこれ考えてモノを創り出すことも良いことと思う。がしかし、作り出された物の対象が地元以外であることが多いため長続きしないのではないかと。受け入れる地元のことはどうだろうか。珍しいものを売るの



正田 哲也さん

(標津・鉄野屋)



まちの
 声・声・声



「まちづくりに思うこと」

25

はいいが、地元の人は皆買って持っているものだろうか。つまり地元の人を買って飾ったり、食べたり、使ったり、あるいは地元の人それぞれが来た人を温かく迎えたり、見る所、食べる所、遊ぶ所などを紹介するとうように地元で根ざしたモノでなければならぬと思っ

ています。役場が何かを作ったぞと言うより、そう作るならこうした方がいいという考えは沢山あるはずで。担当者も、そんな声を何とか委員会や見識者にくだわらず、聞く耳を持たなくてはならないと思います。

サーモンパーク構想にしても机上で考えることのほかに、もつと街中を歩いて声を聞く姿勢があってもいいし、結果報告ばかりじゃ役場だけが何かを作っていることになってしま

う。今、街づくりや村おこしのグループが増えています。人間は時代とともに新陳代謝しています。官庁も民間も、それぞれの時代に合った新陳代謝が必要であると考えています。

(次のあなたは正田さんが選んだ標津の椿芳則さんです。)

つり

第4回しべつ冬まつり '88ナイトイン川北冬のつどい

二月六・七日に第四回しべつ冬まつりが商工会館前広場で開催され延べ五〇〇〇人が参加しました。

雪像は、会場内外を含めて二十一基が作られ、しべつ冬まつり会長賞には商工会青年部の「雪ダルマとすべり台」が選ばれました。

スノーモービル試乗会、腕相撲大会、花火大会、宝さがし、紅白モチまき、氷早切り大会など各種イベントに子どもたちの歓声が上がりました。

冬まつりのメインイベントはなんとといっても晩酌ラリー。女

性三人を含む五十八人が参加。

協賛した三十八の料飲店を二コースに分け、一人が十八店を回り、あらかじめ決められているシートレットタイムに近いうちに近い時間でゴールできるかを競いました。中には飲み過ぎた脱落者も。七十二分のシートレットタイムをピッタリと当てた方は三人。ジャンケンの末、優勝は朝倉勝美さんに。ユキヒカリ五十と玉子十が折手料飲店組合長から贈られました。なお、副賞の米は、米消費拡大対策事業の一環として用意されたものです。



▲大好評だったスノーモービル試乗会。子どもたちが長蛇の列をつくっていました。



大雑鹿紋御神体

▲なんですかこの雪像は



▲氷早切り競走
優勝は郵便局チーム
並みいる強豪を敵に回しての
優勝は見事



8 冬を楽しく冬ま



▲こっちなこっちな迷うのが迷路です。

二月十三日に川北上田組球場を会場に'88ナイトイン川北冬のこといが開催され、町内外から六〇〇〇人が集まりました。会場には、大小三つのすべり台が設置され、長いもので七十メートルにおよぶものもありました。「ドラゴンボール」「ドラエモン」などの雪像のほか、巨大迷路、アートギャラリーもありました。ギャラリーには、小梨和氏（川北中学校校長）の書と細見浩氏（川北小学校教頭）の版画が展示され、会場の雰囲気是一段と盛り上げていました。

また、長崎ハタ（タコ）揚げ振興会のメンバー三人が行った

凧づくり教室には、川北小学校の六年生二十三人が参加しました。出来上がった凧は、スルスル



と頭上高々と舞い上がり、近くにいるカラスもびっくり。指導者の指さばきにより凧は右に回転したり左に回転したり、凧どうしからまった糸を空中でほどいたり、参加者は皆びっくりしていました。

▼七十メートルもあるジャンボすべり台



▼華麗な氷の彫刻



▶ステージでラッキー抽選会の発表



▶二人展の小梨先生(左)と細見先生(右)

あらん限りの声をはりあげての
大声コンテスト



標津町農村環境改善センターに緞長(どんちょう)を寄贈

三友舗道代表取締役 松実 崇氏

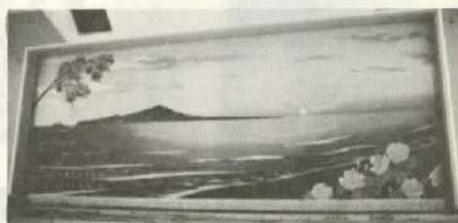


町長に寄付金を渡す松実氏

「標津町町制施行三〇周年を記念して寄贈したい」と中標津在住の三友舗道代表取締役松実崇氏が、標津町農村環境改善センターにと緞帳を贈りました。

この緞帳は、数種の色糸で模様を織り出した緞(つづれ)織りによるもので、画面には色鮮やかに国後島ナナカマド、ハマナスを配しており、時価一千万円の商品です。どうもありがとうございました。

横十三・六メートル縦五・五メートルの緞帳



木々が一面真っ白 さながら花咲いさんの世界

町中の木という木に雪に付着し、さながら花咲いさんの世界。

1月22日に雨が降り、木々が濡れたところへ23日未明に雪が降り、朝方、木は一面真っ白。木と雪の折りなすファンタジーに童話の世界に引きこまれたようでした。



真っ白になった木々

太平洋レミコン労働組合から ひな人形のプレゼント

太平洋レミコン労働組合標津支部(佐藤三郎支部長)では、2月5日に標津町役場を訪れ、「労働組合の福祉事業の一環として実施しているものです。町内の保育所で使って下さい」と、ひな人形飾り一式を寄贈しました。

このプレゼントは、今年で5回目。今年は川北つくし保育所に贈られ、子どもたちは大変喜んでいました。



ひな人形のプレゼントに喜ぶ園児たち

薫別小中学校で サケ・ソーセイジづくり 「塩ザケの塩だしを念入りにしました」

二月八日に薫別小中学校（大滝太一校長）で塩蔵したサケを材料にソーセイジづくりを行いました。

身が悪くなったようです」と分析。ある生徒は「机の上で勉強するよりも楽しい」と忙しそうに作業を行っていました。

塩出したサケから骨と皮を

取り除き、ミンチ

状にします。それ

に塩・砂糖・片栗

粉・卵白・コシヨ

ウ・豚油・ニンニ

クなどを加え味付

けた後、モスリ

ン（人工の腸）に詰

めます。これを一

〜二日程度、広葉

樹のオガクズでい

ぶして仕上げます。

担当の小山内先

生は「前回、塩が

ききすぎたので、

今回は塩出しを念

入りにしました。

そのかわりサケの



ちゃんとできてるかな

山崎葉留嘉さん(標津中1年) 全国中学校スケート競技大会 1,500mで9位(2分26秒14)



ホーフを語る山崎さん

山崎葉留嘉さん(標津中一年)は、二月三・四・五日に栃木県日光市細尾リンクで行われた全国中学校スケート競技大会において、一五〇〇g種目で二分二六秒一四の好タイムを記録し、九位に入る素晴らしい成績を残しました。

この大会では一年生から三年生まで同時に走るため、一年生

ながらも九位は評価されるのに十分。今後の活躍が期待されるようです。

山崎さんは、谷地田先生の指導のもと、毎日夜六時から八時までの二時間、町営リンクで厳しいトレーニングを積んでおり「全国中学で優勝したい」と自らの不得意なスタートの練習に余念がありません。

ハマナスの種から 芽が出た

古多糠小学校の職員室に置いてある鉢からハマナスの芽が出てきました。

昨年、坂脇古多糠小中学校長が役場前に植えてある外来種のハマナスの種を持ち帰り、鉢にまいたところ、最近になって芽が出てきました。

校長先生は、毎日必ず部屋を暖めたり、鉢にビニールをかぶせたりして芽が出やすいようにしていました。

鉢植えの中に小さな芽が



北海道アンサンブルコンサートで

川北中学校が金賞 標津中学校が銀賞

個人コンクールでは中山理枝さんが銀賞

二月十三・十四日の二日間、札幌市において第十九回北海道アンサンブルコンクールと第二十四回北海道管楽器個人コンクールが行われ、アンサンブルでは川北中学校（クラリネット四重奏、大圃千明さん、宮崎美穂さん、池田奈緒美さん、星山真奈美さん）が金賞を、標津中学校（金管五重奏、岩松花恵さん、椿毅之さん、佐々木葉月さん、鈴木靖典さん、佐々木尚さん）が銀賞を受賞しました。また、個人コンクールには川北中学校の中山理枝さん（アルトサクソ）が銀賞を確得しました。

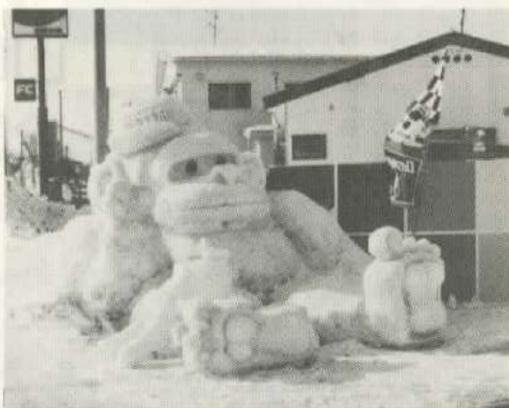
川北中学校吹奏楽部長の中山さん（右）と指導担当の法邑（ほうむら）先生（左）



川北中学校吹奏楽部長の中山さん（右）と指導担当の法邑（ほうむら）先生（左）

太平洋石油スタンドにゴリラ

太平洋石油横にゴリラがお目見え。この雪像は、しべつ冬まつりに合わせスタンドの職員3人が3日かかりで作ったものです。なかなか良い出来と評判も上々。



かわいらしいゴリラの雪像

見舞金を渡す本村幸次郎氏



北海道共同募金会から 災害遺児家庭に見舞金

昨年八月に根室市瑛瑤^{ニギハヤヒ}港で潜水訓練中水死した方の遺族に対し、北海道共同募金会から災害遺児家庭見舞金が支給されました。

この制度は、災害により、生計中心者を失った遺児家庭に対し、知事が見舞金を支給する制度で、二月十八日に北海道共同募金会標津分会長の本村幸次郎氏より遺族に手渡されました。

標津町まちづくり大会'88

～しゃべっちょ しべつ 5じかん～

まちとは、歴史・風土・文化などの積み重ねと地域住民の努力によって築かれたものであり、標津の「まち」も先人が様々な辛苦を乗り越えて今日があります。

21世紀に向け、新たな角度から「萌える海と大地さわやか交流郷」の旗のもと私たち住民が地域社会の主人公として自分たちのまちは自分たち自身でつくりたいとの意識をもち、住民が果たすべき役割を確認し、次代を担う子どもたちに夢を与える町づくりを町民それぞれの立場で考え、実践するために町づくり大会を開催するものです。

今回は、標津町の「観光産業」を考えるうえで、カムイチェップの里オープンを契機としてソフト部門の開発をどうするかを考えるとともに協議内容をそれぞれの団体に持ちかえり確かな発展の歩みを願うものです。

と き

3月25日(金)・10:00～15:00

ところ

標津町農村環境改善センターホール

内 容

「我まち標津の個性はなにか」

- 特産品開発について
- イベントについて
- 町内会自治活動について

標津の味試食会 (昼食はご用意いたします。)

カムイチェップジャズオーケストラ演奏

主 催

標津町まちづくり大会'88実行委員会

後 援

標津町町内会連絡協議会・標津町産業団体青年部連絡協議会
 標津町青年開発会議・標津町農業協同組合・標津町漁業協同組合
 標津町商工会・野っ太郎さわやか集団しべつ21・標津町料飲店組合
 標津町婦人団体連絡協議会・標津町教育委員会・標津町

隣近所お誘い合わせのうえ気軽におこしください。

3月 町民カレンダー 1988

曜日	一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
月・木	新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	3日 17日
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	4日 18日
水・土	川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	2日 16日

町民憲章 = 健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。

標津町町制施行30周年

3/10(木)	健康相談(10時・古多糠改善センター)	25(金)	成人健康相談(10時・相談室) 標津町まちづくり大会(10時・標津公民館)
11(金)		26(土)	
12(土)		27(日)	
13(日)	第19回道民スポーツ 根室冬季(スキー)大会 (9時30分・金山スキー場)	28(月)	妊婦相談(10時・相談室)
14(月)		29(火)	成人健康相談(10時・川北公民館)
15(火)		30(水)	
16(水)		31(木)	
17(木)		4/1(金)	
18(金)	第1回老人演芸大会(10時・標津町農改センター)	2(土)	
19(土)		3(日)	
20(日)	春分の日	4(月)	健康相談(10時・忠類生活会館)
21(月)	振替休日	5(火)	乳幼児健康相談(10時・標津公民館)
22(火)		6(水)	乳幼児健康相談(10時・川北公民館)
23(水)		7(木)	
24(木)	妊婦相談(10時・相談室)	8(金)	成人健康相談(10時・役場相談室)
4月		9(土)	

一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	7日 21日
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	8日 22日
川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	6日 20日

国民健康保険を考へる

8 最終会

健康と福祉の村建設に向けて

今まで八回に渡って国民健康保険のしくみ、標津町の保健活動の実態を見てきましたが、最終回では「健康と福祉の村」整備構想について考えてみます。

心身ともに健康な暮らしは、経済生活の安定とともに、幸せな町民生活の重要な基盤であることはもちろんです。高齢者や障害者などを含めた全町民の健康と福祉が守られ、町民相互の活発で温かな交流のあるまちづくりを標津町は、めざしています。

民間活動が不可欠

現在、町が構想している「健康と福祉の村」は、現状の健康づくり活動や保健・医療・福祉サービスおよび施設の見直しを行い、各分野を有機的に結びつける総合的な体制をつくらんと

もに、それらを日常的なスポーツ、レクリエーション活動やコミュニティ活動と積極的に結びつけていく考えです。

そして、これらを実現し、施設を十分に機能させるためには行政努力はもちろん、民間（町民）活動の積極的な関わりが不可欠であることはいうまでもありません。社会福祉協議会やその他の関連団体はもとより、医師・保健婦・栄養士・教育委員会・学校・民生委員・ヘルパー・各種相談員・ボランティアが各々の立場で役割を分担するとともに、活動の輪を広げながら、相互の連携を強めていくことが必要です。

健康と福祉の村整備事業積立金として一千万円

健康と福祉の村の建設は、サーモンパーク建設が一段落して

からの実施になることと思われませんが、町としては六十三年度から整備事業積立金として一千万円を計上することにしました。

また、村

建設に必要なソフト

部門としてボランティアセンター
勤労会（四月発足）の確立など徐々に健康と福祉の理想郷づくりに向けた体制づくりをめざしています。

サーモンパーク建設予定地に隣接して建設される「健康と福祉の村」計画図



野犬掃とう実施のお知らせ

保健衛生業務に対し日頃より深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

畜犬取り締まりおよび野犬掃とうを次のとおり実施いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

記

一、実施期間 自63年3月1日 至63年3月30日

二、実施区域 標津町全域

三、実施方法 捕獲および薬殺

四、その他 首輪をしていても放していると野犬と見なし処分されますので注意願います。

▼犬の放し飼いは危険！

年々犬が人にかみつく等の咬傷事故がふえています。事故の半数以上が飼犬の放し飼いによるものです。また今年はとくに放し飼いの犬に対する住民からの苦情が絶えません。

犬を飼う場合はオリ飼いか二メートル以内のクサリで飼うことになっています。放し飼いは事故の原因になりますので絶対にやめて下さい。

（保健課環境衛生係）

“情報公開制度”をご利用ください

道の情報公開制度は、“開かれた道政”の充実にめざし昭和61年10月1日にスタートしました。

この制度は、道が持っている公文書を、皆さんからの請求にもとづいて公開する制度です。

皆さんが必要なときに道の公文書を閲覧したり、写しの交付を受けることができるように、利用・相談の窓口として行政情報センター(北海道庁内)、行政情報コーナー(各支庁、その他の道の出先機関)を設置しています。また、行政情報センターと行政情報コーナーでは道の刊行物のほか、国や市町村などが発行した刊行物で道の行政や道民生活にかかわりの深いものを備え付け、刊行物による情報提供も行っています。

制度が実施されてから今日まで大勢の皆さんがいろいろな公文書や刊行物を閲覧したり、写しの交付を受けています。

さらに多くの皆さんのご利用をお待ちしています。

《お問い合わせ》

行政情報コーナー (087 根室市常盤町3丁目28番地 根室支庁道民相談室または総務課総務係 電話01532-3-6131)

郵便貯金が変わります

昭和63年4月から

①郵便貯金の預入限度額が、今までの300万円から500万円に大幅アップされます。

②郵便局で国債がお求めになれます。

③利子非課税制度が改定されます。新しい非課税制度は65歳以上の方等が対象となりその他の方については、他の預貯金と同様に郵便貯金の利子についても一律20%の課税となります。

※きちんと知って、しっかり貯める。郵便局では今まで同様、皆様のマネー・ライフを応援いたします。ご不明な点がございましたら、お近くの郵便局、セールスマンにお尋ね下さい。

3月は「国民年金保険料未納整理月間」です

3月は「国民年金保険料未納整理月間」です。お手元の納付案内書により、いま一度確認のうえ納め忘れがないか、お調べ下さい。保険料を納め忘れていきますと、万一の事故のとき、障害年金や遺族年金などを受けられないばかりか、将来老齢基礎年金さえ受けられないこともあります。もし、納め忘れの保険料があればすぐ役場出納室に納めましょう。

戦没者の遺族の皆さんへ —第4回特別弔慰金の請求はお済みですか—

昭和60年に改正された第4回特別弔慰金(額面30万円、10年償還の国債)の請求期は、昭和63年6月13日となっております。まだ請求手続きをお済みでない方はお急ぎください。

なお、支給対象となる方は次のとおりです。

1. 昭和60年4月1日において遺族年金、公務扶助料等の受給権者がいない遺族であること。
2. 戦没者の兄弟姉妹、子など三親等内の親族であること。
3. 上記に該当する遺族の先順位者1人に対し支給されます。請求手続きなど詳しいことは役場の遺族援護担当係にお尋ね下さい。(福祉課福祉係)

町内の交通事故 (1月)

人身事故	2件
負傷者	5人
死亡者	0人
物損事故	17件

死亡交通事故ゼロの日

617日

(2月15日現在)

おしらせ

固定資産税縦覧延期について

今年、評価替の年となっており、地方税改正に伴う町税条例の改正が、4月以降になるため固定資産税の縦覧を4月以降に延期します。

なお、縦覧時期については広報4月号・掲示板を通じてお知らせ致します。

国民年金保険料 4月から7,700円

国民年金保険料は、月額7,400円でしたが、4月から300円引き上げられ、7,700円になります。これは物価上昇などに合わせ受給額が毎年増額されていくために、そのときどきの年金額に見合った保険料を納めていただかなければならないためです。将来受ける自分のために、毎月納め忘れのないようにしましょう。なお、保険料をまとめて納める前納制度を利用して、昭和63年4月から昭和64年3月までの1年間の保険料を前納すると90,170円に割引きされます。

いかがですか あなたの健康

健康相談を利用して下さい!

高血圧症や心臓病などのいわゆる成人病は、初期の自覚症状が少ないため、それと気づいたときにはもう手遅れという場合もあります。

私達が健康で明るい生活をより長く過ごすためには、普段からの健康管理、そして病気を早く発見して、初期のうちに適切な処置を加えること以外に手だてがありません。

寄付ありがとうございます

- ▶夕張市の今野猛さんは香典返しをやめて社会福祉協議会へ
- ▶遠藤稔さんは母子父子家庭の新生一年生へお祝いとして学用品を
- ▶聖友標津支所は活動資金として社会福祉協議会へ
- ▶標津町体育文化振興基金へ
標津スキー協会様・南等様・梅木正己様・小野瀬修様・佐々木力也様・藤本寿一様・山崎睦郎様・林策弥様・標津スケート協会様

戸籍の窓口から

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
三浦いくみちゃん	曙町	幸一郎さん
山田 典子ちゃん	南古多様	栄 治さん
村山 拓ちゃん	伊茶仁	政 己さん

おくやみ申し上げます

おなまえ	住所	年令
川岸 ハマさん	緑 町	72

(1月16日から2月15日までの届出分)

とが必要になります。そのため各種検診と並んでお勧めしたいのが、保健婦・栄養士で実施している健康相談です。健康相談では(血圧測定や必要に応じて尿検など)個別に健康に関する色々な相談に応じています。各地区ごとの実施になっていきますので最寄りの健康相談にいらして下さい。日程については、広報のカレンダーを参考にして下さい。なお、電話での御相談にも応じていますのでお気軽に

地区	回数	場所
標津	月 2 回	役場内相談室
川北	月 1 回	川北公民館
忠類	月 1 回	忠類生活会館
古多様	2ヶ月に1回	生活改善センター
薫別	2ヶ月に1回	薫別集落センター
崎無異	2ヶ月に1回	仙石さん宅

御利用下さい。(TEL) 2131・内線132・141



内澤保健婦

児童手当制度が 昭和63年4月1日より改正

今まで五十八年四月二日以後に生れた児童を含む十八才未満の児童を二人以上養育している方。又は五十三年四月二日以後に生れた児童を含む十八才未満の児童を三人以上養育している方を対象としておりましたが、今回の改正では、第二子以降義務教育就学前の児童が対象になります。なお、義務教育就学前の児童には、病弱・発育不完全その他やむを得ない事由のための就学困難と認められる児童であって、現に就学していない児童が含まれます。

62年度 (62.4.1-63.3.31)	63年度以降 (63.4.1-)	2月15日分	6月1日分	10月1日分
62年4月1日現在で4才未満 (58.4.2以降に出生)	63年4月1日現在で6才未満 (義務教育就学前)	2,500円	2,500円	2,500円
62年4月1日現在で9才未満 (小学校3年以下)	63年4月1日現在で6才未満 (義務教育就学前)	5,000円	5,000円	5,000円

だ支給されていない方(例えば出生や他市町村からの転入など)は、すぐに市町村役場で認定請求の申請をして下さい。また、手当の支給期日は、毎年三期に分け四ヶ月分ずつ支給されます。

人口のうごき

()内は前月比

人口 7,228人 (+15)
男 3,566人 (+7)
女 3,662人 (+8)
世帯数 2,224世帯 (+5)